

橘田 修吾

2018年入会

海洋学部 航海工学科 卒

乗船実習課程 修了



今までの経歴を教えてください

前職：船舶管理会社にて海上及び、陸上勤務（20年間）→

本会へ転職：本部・安全管理システム部（研修4ヵ月）→広島支部（取材時）

現在のお仕事は？

新造船及び、就航船等の検査業務

現在、現場検査員船体担当として主に船体構造や区画、艀装品等の検査に従事し、関連する検査記録の作成を行っています。前職の船舶管理会社勤務で、それなりの知識と実務経験を持っているつもりでしたが、本会では規則や検査実務の習得に、前職以上に日々勉強、奮闘しています。その苦労は多いですが前職では得られなかった経験を得られること、最新の規則改正や技術に触れられることにやりがいを感じています。また、就航船の検査では、検査の参考として本船乗組員から運航状態、航路や荷役状況等をお聞きすることも多く、海技者としての自身の経験が大きく役立っています。加えて先日、船舶安全管理及び、保安規則の審査員研修を受講する機会に恵まれました。今後は両規則の審査員として、さらに前職の経験を活かしたいと思っています。

自身の検査の結果が本船の建造、運航に反映される責任感とやりがい

本部での研修後に支部へ着任してからは、新造船の検査を担当しました。前職で慣れ親しんだ本船とはいえど、初めての検査員業務ゆえ不安もありましたが、上長や先輩検査員の多大な現場指導、支援をいただきながら初めての担当船を送り出すことが出来ました。その時の感動は今でも忘れられないものとなっています。

また、就航船の入渠中検査の際、タンク内に部分的な腐食の進行箇所を発見したことがありました。前職の海上勤務時でも対応について苦労した経験のある箇所であり、船主様や造船所御担当者様へ修繕方案について御提案した結果、そのタンク以外の同様の箇所とあわせて修繕の手配をしていただきました。自身の経験が少しでもお役に立てたのかと安堵したと同時に、船級検査員という前職とは違った立場故、今まで以上に関係する皆様とのコミュニケーションの重要性を感じました。

どうしてNKを選んだのですか？

自身の経験を生かして、海運に関する多様な業務にチャレンジ出来る

前職で所属していた船舶管理会社でも本会船級船を多数管理していたこともあり、本会業務の多様性は以前より理解しておりました。世界でも有数の加入船腹数を誇るその本会の業務で自身の経験を試したいと思い、転職を決めました。

自分にとっては前職管理会社も十分に魅力的な職場でありましたし、船長まで務めた海技者としてのキャリアから離れることに躊躇は無かったと言えますが、幅広い業務内容、高い技術力と大きな実績を有し、多くの優れた検査員を擁する本会でチャレンジをしてみたい一念でした。特に、前職で関わりのあった就航中の検査のみならず、様々な船種について建造時の検査からリサイクルまで本船の一生に携われることにも魅力を感じました。



就活中の方へメッセージ

本船の操船や運航業務に於いては、当然、安全が第一となりますが、船長や乗組員、陸上要員は、本船スケジュールや乗組員管理等の様々なプレッシャーを受けて業務に従事しています。小職自身が乗船時も様々に思い悩むことがありましたが、最後には「後悔をしない操船、運航」を心がけていました。

就職先の選択や、転職をする・しないの選択についても個々をとりまく様々な事情があり正解は無いと思いますが、皆様の人生という航海では是非「後悔の無い航路」を選択されることを願っております。